

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	シェルパ		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 1日		～ 2025年 1月 16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	2024年 12月 1日		～ 2024年 12月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援内容の説明が行われている事	保護者の方には負担をかける事になっているが、お迎えに来てもらう事で、活動内容に報告を行うようにしている。	お迎えの時間のみでは、情報共有の時間などは短くなるので、相談支援についても、利用してもらいやすい体制を検討していきたい。
2	支援プログラムを個々に合わせて検討していている。	個々のアセスメントや、支援内容について全体で共有を図るようにしていている。	それぞれの職種の専門性だけでなく、幅広い知識を知っているそれぞれの活動を通して、発達全般の向上を図れるようにしていきたい。
3	楽しく通所をしてくれている	本人の好きな活動は大切にするように意識している。	得意をのぼすといった部分についても、意識していけるように工夫を重ねていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個室へ周囲からの音がはいつてきやすい	消防法の関係もあり、個室の上部はぬけている作りになっている。	音が気になるような場合には、比較的音の遮断できる個室を利用するようにする。
2	保護者会や地域交流の機会がない。	ニーズの確認が出来ていなかった。地域交流はどのような場面に参加していくかについて想像が出来ていない。	ニーズがあるようであれば、開催方法など検討していきたい。地域交流については、すでにある交流の場を知っている、参加する方法を検討していく。
3	定期的な通信がない。定期的な相談の場がない。	個別の活動内容については、簡単にはあるが、毎回報告するようにしている。またお迎えにおいて顔を合わせるようにしているため、定期的な通信や相談の場などについては十分に考えられていなかった。	運営システムの見直しやSNSの活用も検討していく。定期的な相談の場について確認をしていきたい。